

科目コード					担当者氏名	人文科学研究所 教授 富永茂樹			
授業科目名 (英訳)	社会学特殊講義 Sociology(Special Lectures)								
配当学年		単位数	4	開講期	通年	曜時限	火 4	授業形態	講義
題 目	トクヴィル・モメント(5)—群れの登場								
〔授業の概要・目的〕									
アレクシス・ド・トクヴィルのテキストを読みつぐ試みの5年目は、19世紀の大都市を中心に姿を現した群集と、これに向けられるトクヴィルのまなざしに注目して、平等化が進行する社会が根源的に抱える問題を見るとともに、そこから社会学的思考が発生してゆくあとを辿ることになる。									
〔授業計画と内容〕									
今年度はまず前期に、これまで4年間に見てきたことからの概観をとおして、この哲学者の基本的な考え方と問題のありかを確認したあと、彼はアメリカから戻ったのちに訪れたイギリスの諸工業都市、そしてなによりも彼自身が生きた1830-40年代のパリで経験した群集の様態をテキストから読み取り、同時代のエンゲルスやポーなどの描いた群集と比較する。次に後期には、この人間の群れのうえに君臨するとトクヴィルのいう「民主的な専制」の概念、つまり『デモクラシー』のいわば結論として提示される、言語のうえでは形容矛盾とも見える社会のありように注目するとともに、『アンシャン・レジーム』で展開される18世紀における「啓蒙的専制」(フレデリック2世)や「合法的専制」(ミラポー他)と並べて、トクヴィルの議論の意義を探ることで、現代社会学にもつながるいくつかの問題を導き出す。									
〔履修要件〕									
特別な知識は必要ではないが、19世紀以後の社会認識に関心があることが望ましい。									
〔成績評価の方法・基準〕									
学年末に試験を実施して、1年間の授業内容をどれだけ理解しているかを判定して、これにもとづいて成績評価を行う。									
〔教科書〕									
トクヴィル『アメリカのデモクラシー』(岩波文庫)、『フランス二月革命の日々』(岩波文庫)。これとは別に必要なテキストは授業時に配布する。									
〔参考書等〕									
授業時に指示する。									
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕									
授業時に言及したテキストの該当箇所を、次の時間までに読んでおくことが望ましい。									